



# 2000万署名提起

## 総がかり行動が集会

# 戦争法廃止 新たなうねり

「必ず安倍政権を倒し、戦争法を廃止する。野党は協力を。今日は新たな決意の場です。」総がかり行動実行委員会が、8日夜に東京都内で開いた集会では、2000万人を目標にした統一署名運動、毎月19日に全国で行動を続けることなど、主催者の訴えに会場が一体となりました。会場のシビックホールを埋めた人は力強い声援と拍手

で応えました。主催者を代表して、高田健さんがマイクを握りました。「戦争法は強行採決されたが、全国の怒りのエネルギーは絶えず、むしろ希望が見えているように思えます。引き続きたたかいます。引き続きたたかいます。」

戦争法と国際協力NGOの活動に関わって、日本国際ボランティアセンター(JVIC)顧問の熊岡路矢さんが講演しました。がんばる野党の国会議員も駆けつけ、日本共産党の田村智子参院議員、民主党の福山哲郎参院議員、社民党の吉田忠智党首がいざつしました。

「主権者が日本を取り戻す!」幅広い市民や政治家、学者ら著者が賛同する超党派の市民団体「オールジャパン平和と共生」は8日、戦争法(安保法制)をはじめ環太平洋連携協定(TPP)、原発再稼働、沖縄米軍新基地建設など、安倍内閣の政治に対決する総決起集会を憲政記念館(東京都千代田区)で開きました。集会宣言は、安倍内閣を「立憲主義に反し国会制民主主義を一顧だにしない政治手法は、一種のクーデター」による憲法体制の破壊」と糾弾。戦争法の「早期の廃止」を強調し、主催者の連帯で国政選挙に勝利し、「一日も早く安倍政権を打倒して日本政治を国民の手に取り戻す」と呼びかけました。

「提言」は、安倍政権が国民多数の反対を無視して、「安保関連法案(戦争法)」の採決を参院で強行したことに抗議、「国会審議を通じて明らかにしたものは、安保関連法案が立憲主義を否定する憲法違反の法案だ」といっています」と批判し、圧倒的多数の憲法学者や弁護士、元内閣法制局長官や、「憲法の番人」である最高裁の元長官も「違憲と指摘している」と紹介。「民主主義を守り抜き立憲主義を取り戻すため、先の国会で成立した安保関連法の廃止を自指し、都民・国民の皆さんとともに、引き続き全力をつくします」と決意を述べています。

## オールジャパ。パンで 安倍政権を打倒

超党派の市民集会

「早期の廃止」を強調し、主催者の連帯で国政選挙に勝利し、「一日も早く安倍政権を打倒して日本政治を国民の手に取り戻す」と呼びかけました。

会場が人であふれる中、各界からの発言が続きました。

東京都議会(定数127、現員124人)の日本共産党(17人)、民主党(16人)、維新の党(6人)、生活者ネット(3人)と無所属の2会派(2人)は8日、「強行採決にまじく抗議し、安保関連法の廃止を求める提言」を発表しました。都議会9会派のうち3分の2にあたる6会派が提言を支持しています。

政治学者の白井聡氏は共産党の「国民連合政府」構想に言及し、「大胆な提案が出た。労働組合など、下からの(運動結集の)動きが出なければならぬ。それが政治は間違っていない」と発言しました。

日本共産党の小池晃副委員長が駆けつけ、「憲法の上で自分(安倍政権)を置くのは、独裁政治と述べ、戦争法廃止の国民連合政府」の提案を紹介。「安倍政権打倒の」声にこたえるのは政界政治家の責任です」と力を込めました。司会者は「こんないい共産党はみたことがない」と述べました。

小林節・慶応大学名誉教授、鳩山由紀夫・元首相、原中勝征・元日本医師会会長らが発言しました。

「戦争法廃止の国民連合政府」の提案を紹介。「安倍政権打倒の」声にこたえるのは政界政治家の責任です」と力を込めました。司会者は「こんないい共産党はみたことがない」と述べました。

小林節・慶応大学名誉教授、鳩山由紀夫・元首相、原中勝征・元日本医師会会長らが発言しました。

小林節・慶応大学名誉教授、鳩山由紀夫・元首相、原中勝征・元日本医師会会長らが発言しました。



「オールジャパン平和と共生」の総決起集会＝8日、東京都内

149 赤